



# ボランティア かわらばん

編集発行 なかのボランティアかわらばん編集委員会

どう育てていいのかわからなくて不安です。  
赤ちゃんが取説付きで生まれてくれればいいのだけじ。  
(20代女性)



取扱い説明書付

1. \_\_\_\_\_
2. \_\_\_\_\_
3. \_\_\_\_\_
4. \_\_\_\_\_



## 産まない理由

アンケート実施

長野の男女に聞きました

あなたは少子化の現実を知っていますか？  
そして産みたくない本当のワケを知っていますか？

### あなたは産みたいですか

こうした少子化の傾向は、今後も続くと言われている。2020年には子どもを作れる世代の割合が今より4割も減り、人口は今後50年間で3千万人から5千万人も減少するという推計もあります。さらに21世紀末には日本の人口が今の半分(約6千4百万人)になるとも言われ、少子化は日本の未来に大きな影を落とすと見られている。若い人たちが、いままぜ産むことを選ばないか。ボラセンではアンケートを実施、その結果、少子化の理由(わけ)が浮かび上がりました。

●よい母親になるのが夢だから。(20代女性)

●子供のいない老後の生活は寂しいだろうから。また、子供を育てる楽しさを感じたい。家族を感じたい。(20代女性)

■遺伝子を残したいから。(20代男性)

■子孫を残したい。楽しい。うれしい。(20代男性)

■欲しいです！うちの親があんたらがいて良かったって言うってくれるし、きつと子供は親に何らかのプレゼントをくれますよ！中身はわからんけどそれもあかなと。(20代男性)

●子どものいる家庭を体験してみたい。(30代女性)

●私を含めて、戸籍上の区別(未婚の場合戸籍に「長男」でなく「男」と記される等)がなくて差別がなければ、未婚でも子供を生みたいという者(特に女性)はいると思う。(30代女性)

●親として子どもを一人前に育てられるかどうか不安だがほしい。(30代女性)

●人間としての義務。(30代女性)

●子どもはかわいいし自分の子どもを見てみたい。老後、子どもがいないと寂しい。(20代女性)

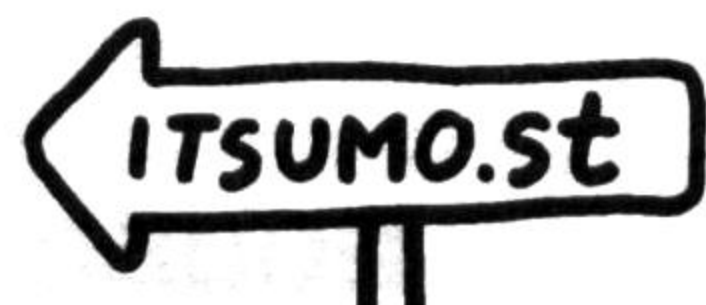
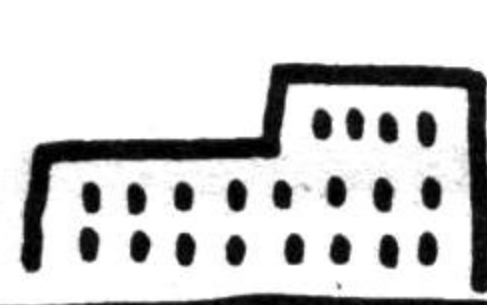
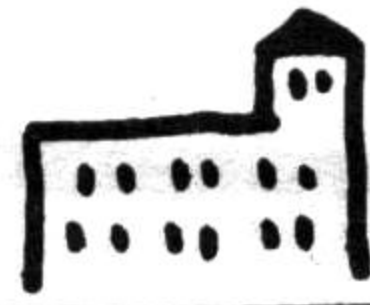
●子どもはかわいいし自分の子どもを見てみたい。老後、子どもがいないと寂しい。(20代女性)

●子どもはかわいいし自分の子どもを見てみたい。老後、子どもがいないと寂しい。(20代女性)

●子どもはかわいいし自分の子どもを見てみたい。老後、子どもがいないと寂しい。(20代女性)

### ホントは深刻な少子化の現実

少子化の流れが止まりません。平成15年には、出生数(1年間に生まれる子どもの数)が約112万人、合計特殊出生率(一人の女性が一生の間を生む子どもの数に相当)が1.29となり、いずれも過去最低を記録しました。



●老後の一人は寂しいかな？友達の子どもなどを見ていて自分でもほしいと思う。(20代女性)

●自分の子どもを育ててみたいから。始めは大変だと思うが、自分が今までしてきた色々な良い経験を子どもにも体験してほしいと思う。(10代女性)

●自分の生きた証がほしかった。子どもと共に人間として成長していきたかった。親が痴呆等になったときの介護など不安だから(40代女性)

●本能(40代女性)  
●子どもが欲しいのは本能。子育てをしながらも、自己実現はできるし、社会参加もできる。子どもがいることによって視野が広がり、仕事にも活かされている。(30代女性)

●たいていの仕事は代わりがいるけど、この子の母親は私だけ。こんな私を必要としてくれる幸せを感じています。(30代女性)

## 本音で語る少子化の理由

●教員をしているが、社会も子供もどんどん難しくなっている。恐ろしくって自分の子供なんてもてないわと思ってしまふ。弟夫婦が子供をうんでくれたとき、これで自分の親のDNAは残ったのだから自分は生まなくていいと思って、心からほっとした。(30代女性)

●みんなが子供を持って、いいことより大変なことが多いと思っ

ているから少子化が進む(20代女性)

●男性も女性も子育てだけにエネルギーをとられたくないから。(10代女性)

●仕事も趣味も大切にしたいから。(10代女性)

●気持ちに余裕がないので産みたくはありません。(30代女性)

●今のところはいらぬ。こどもを産むことへのメリットが感じられない。(20代女性)

●今産まれてきても本当に幸せなのかと思ってしまう。また自分の仕事のことや年齢、体型のことを思うと、生みたくないと思うし、一方では産まないと婦人科系の病気になるという話を聞いたこともあるので産んだほうがいいのかも・・・と思うことはある。パートナーがどうしても子供が欲しいと思うのなら考えるし、できれば無理強いない方がいい。(30代女性)

●世の中、先が不安だから(20代女性)

性)

●学歴重視の社会だから子供は親が手をかけてお金をかけて育てるのが当然になっている、子供を持つとうと思う人も一人か二人の子供しか持たない。(30代女性)

●やはり経済的な理由だと思う。一般的に共働きでない子どもを大学まで行かせるのは難しい？(20代男性)

●独身が楽だと感じているから。あと子育てにお金がかかりすぎ、子どもも作るなって言ってるようなもんだよ。ある意味一人っ子政策だね(20代男性)

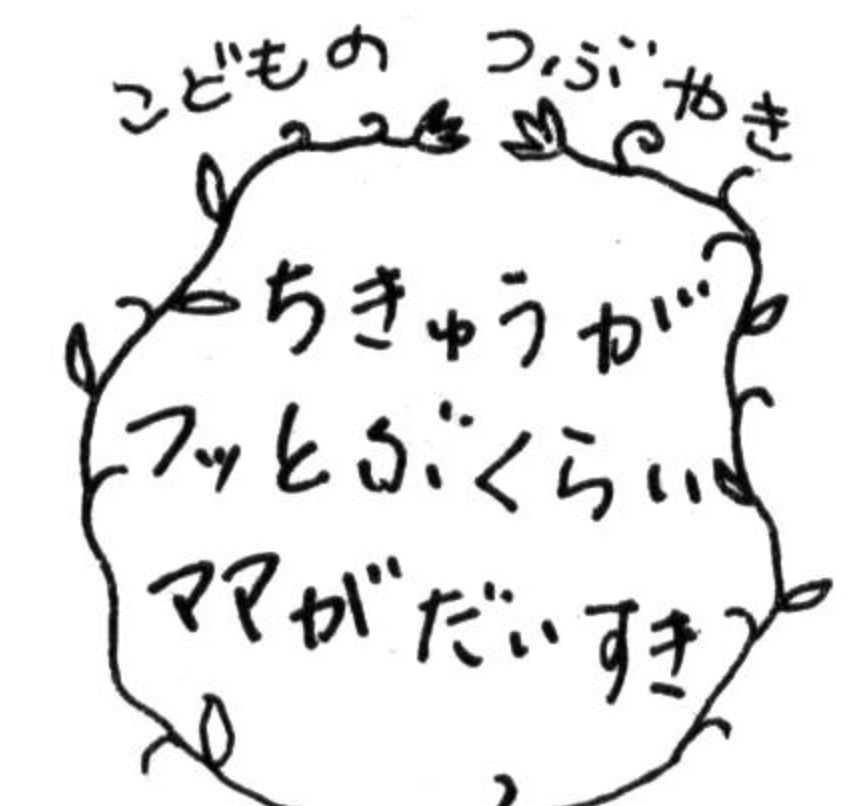
●価値観の多様化。子どもを育てる以外に志向がある。(20代男性)

●難しいっす・・・何だろ、世の中なんでもできるようになって、自分のために力とか時間とかお金を使いたくなるのか。出産の優先順位が落ちてる感じというか。(20代男性)

●親として子どもを一人前に育てら

れるかどうか心配。(20代女性)

●女性で自立する人が増えてきた(結婚しなくても一人で生きてゆける)のと、働きながら子どもを育てるには女性が必要と苦勞を強いられるから(子育ての喜びより余計な苦勞はせず今の暮らしを楽しみたい)。(30代女性)



●結婚や子育てだけが女性の役目？(喜び)ではなくったということでしょうか。夫を愛せないかともいう不安も(30代女性)

●女性の社会進出、男性の軟弱化(20代女性)

●不安定な世の中で育てていくのが怖い。経済的にやっていけるか分からない。子どもに関わる事件、事故が増えている、子どもをほしがると人が少なくなっていると思う。金銭的に苦しいので、一人でいいと思っている人が多いと思う。(20代女性)

●女性が一人でも生活できるようになって来ているから。一人暮らしが長くなれば長くなるほど、一人になってしまふから。(10代女性)

●子どもを産むことにより財政的、精神的負担が増えるから、子どもが支障になる可能性があるから。育児休暇があってもその期間仕事から離れるのは厳しいのでは。(10代女性)

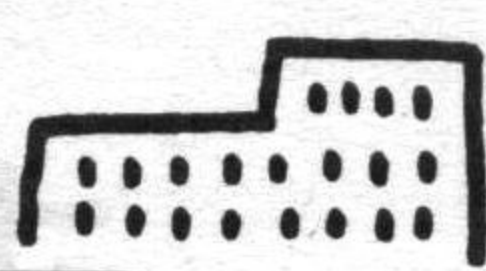
●親の介護と自分の収入、それと老

## 消極的な拒否



## 少子の理由

「子どもは欲しいけど、経済的なことや子育ての環境に不安がある」という意見と、「結婚にとられず、キャリアを積んで自分の生活を充実させたい」という2つの意見に分けられました。「経済的に不安」と考えている人が多いようです。



後の年金（きつとないから）出産が医療の対象でない。家が狭い。家賃が高い。地方に仕事がない。若者の流出。女性が働きにくいのに、介護、家事、子育てなど家族の負担が大きい。子どもも預けにくい。全部は無理でも障害者や、高齢者、女性がちよびちよび働く体制があれば男性の仕事時間が短くなる。（30代女性）

●育てるのが面倒（10代男性）

●子どもを産むと、母親はやりたいたいことができなくなる。（10代女性）

●結婚による女性への負担が大きいく結婚に夢を持たない女性が増えている。社会に出て働く喜びが大きくなった女性が増えた。（40代女性）

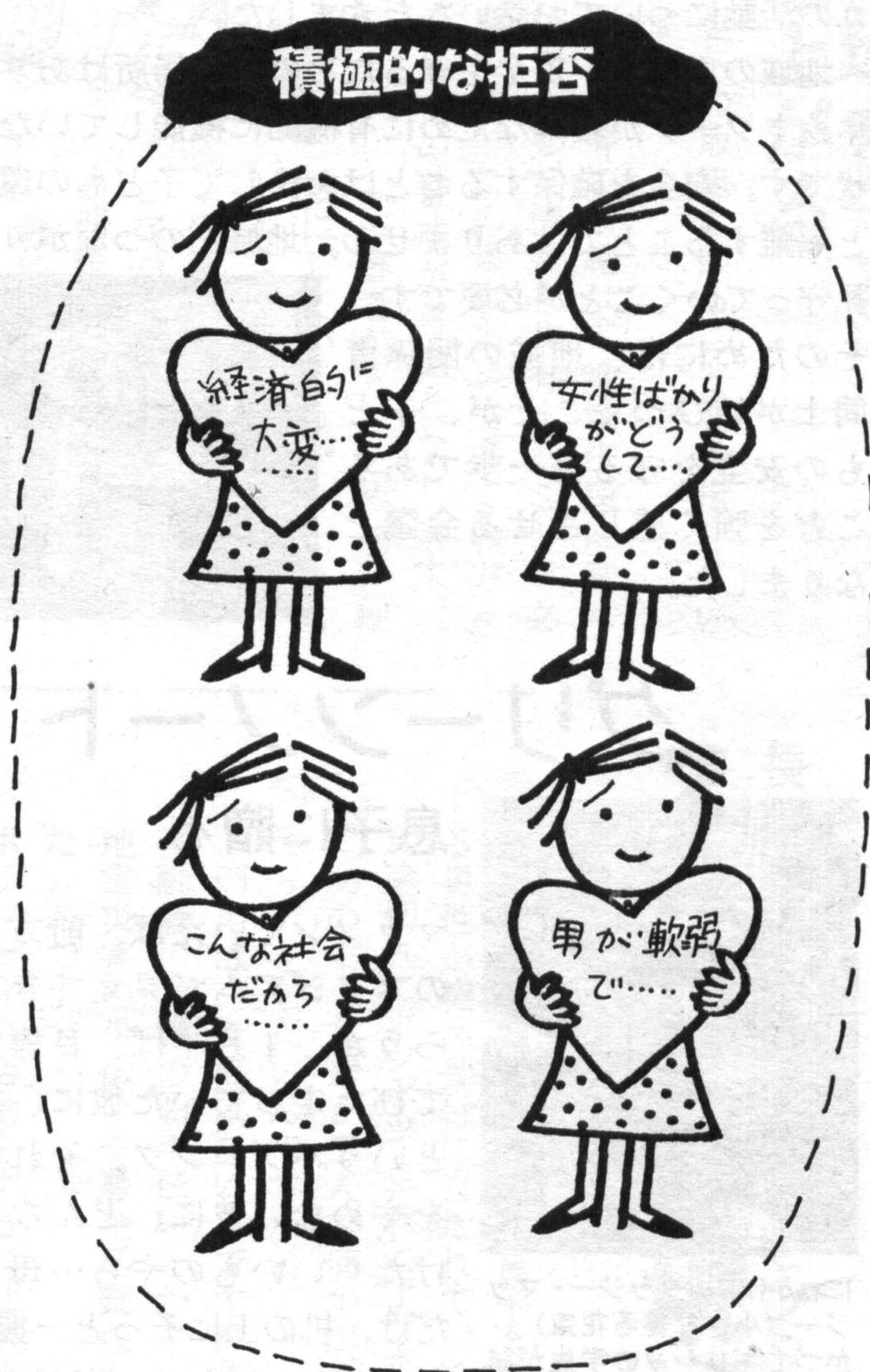
●子どもを産んでも苦勞するだけ。（40代女性）

●子育ての暗い情報ばかりが入ってきて、子育てに明るいイメージがない。（20代女性）

●結婚しない人口の増加！別に結婚しなくてもある程度自由で楽しい生活が送れるということを知ってしまったために、あえて結婚するという選択をしなくなったのでは？また結婚したとしても、子供を産むのは女性だし、負担がかかるのは女性、育児も結局は女性・と思ってしまうってなかなか子供を産むということをしな

いのは今の社会制度などではとても子どもを産んで楽しく生活できるという夢は描けない。（30代女性）

積極的な拒否



子どもを愛するということ

どんなときに愛情を感じていますか

●いつも。（10代女性）

●風邪をひいて、おかゆをつくってもらったとき。でも結婚をせかされると、親の愛がうつつとうしいです。（20代女性）

●今離れて暮らしているの、よく物を送ってくれたり、メールや電話で優しい言葉をかけてくれる。

●今思えば叱られたことかな（20代男性）

●抱き締められた時。（20代男性）

●最近では愛なんて感じないな。小さい頃は手をつないでもらうとうれしかったかな（20代男性）

●困っている時や悩んでいる時に本気で心配してくれて話を聞き一緒に考えてくれた時。（30代女性）

●身体をこわしたりしたとき、一番心配してくれること。（20代女性）

●自分が赤ちゃんだったころのはなしとか聞くと、大事に育てられたんだと感じる。（20代女性）

●私の行動や、考えを信じてくれていと思うとき。一緒に笑っているとき。（20代女性）

●楽しく会話するとき。（10代女性）

●教育にたいして、けっこうなお金を出してくれるとき（10代女性）

●愛されるってことがよく分からない。ということが愛情なのか分からない。（10代女性）

●どういうことを愛情というのかわからないが、行きたい学校や職業を

応援してくれるとき。（10代女性）

●親に愛されていることを考えたことがない。（30代女性）

●離れて生活していても電話をくれるとき。気遣ってくれるときにうつつとなりそうになる。たまに実家に帰ったときに好きな食べ物ばかり作ってくれるとき。（30代女性）

●グループホームに介護士として勤めて感じたことですが、夕方になると玄関に行って靴を履き、「お母ちゃんのところへ帰るの」と言う80代のおばあちゃん。夜間に廊下を歩き回り、「お母さんはどこへ行ったかなあ？」と探している90代のおじいちゃん。発熱でベッドに横になり、「お母さんー！ お母さんー！」と叫び続けている80代のおばあちゃん。みんな安心して落ち着ける所を求めています。幼い頃に戻ったかのような姿をみて、やはりどんなに年老いても一番安心できる所は「お母さん」なんだと感じます。

アンケートによって、長野でも若い人たちの多くが、本当はもっと産みたくても産めない現実が明らかになりました。赤ちゃんや子どもを見かけない社会はさみしいだけでなく、日本の未来を危うくすると言われている。

どうしたら地域社会に子どもの明るい声が満ちるようになるか・・・。今こそみんなの智恵とあたたかい心を結集させる必要があるでしょう。

（取材／宮沢久美子・丸山いずみ）

## 「スノーバスターズ・ながの」誕生 雪かきボランティア隊結成式行なわれる

お年寄りや障害をお持ちの方から寄せられる、雪かきしてほしい、の要望に応えようと市民による除雪ボランティアグループ「スノーバスターズ・ながの」が誕生しました。



ボランティアセンターからの呼びかけには50歳代を中心とする17名が賛同していた。2月19日（土）にふれあい福祉センターでおこなわれた発足式には9名の活動希望者が集まりました。

意見交換の後に、長野市民新聞社、信毎販売センターの協力のもとに今回特別に製作したそろいのゼッケンをつけて、参加者一堂気合を入れて結束を誓いました。

地域によっては町内会レベルで対応しているところもあり、それ以外の場所での活動を展開していく予定です。これをきっかけに「スノーバスターズ・ながの」の活動が地域で広がっていくといいですね。

## こどもの安全は地域と手をつないで 子ども支援ボランティアネットワーク会議開催

子どもに関する様々な事件・事故が社会問題となっています。特に下校時の子どもの安全をどう守るのかについて、これまで以上に関心が高まっています。

そんな中、地域住民、学校、家庭、商店街などの関係者に参加していただき、情報交換、交流をとおして、子どもの安全についての地域ネットワークづくりのきっかけの場として、「子ども支援ボランティアネットワーク会議2005」を開催しました。子どもの安全に関する活動を積極的に行っている団体、PTA、企業からシンポジストをお招きし、それぞれの活動についてお話いただきました。

地域の中には、安全を守るための人や場所はありますが、ネットワークが希薄なために有機的に機能していないのが現状です。安全を確保することは、決して子どもの環境を外部と隔離することではありません。地域とのつながりの中で、見守っていくことが必要です。そのためには、地域の関係者同士が結びつくことが、子どもの安全を守る第一歩であることを強く感じさせる会議となりました。



## グリーンノート

### 息子に贈る

マラソンでいえば、前方にゴールのスタジアムが見えてきた頃であろうか。1月半ば、目標に向かってひた走っていた彼に、入院手術というハプニング。それでも走りをやめない彼に、どんな言葉をかけたらいいいものやら…母は見守るだけ。机の上にそっと一握りの花を置いた。とにかく、春が来ることを祈るのみ。

グリーンクラブ 徳永



にわか作りのタージー・マージー（小さな香る花束）、かつてギリシャの学生が試験を受けるとき、頭にまいたとも言われるローズマリーも入れて。

## 大事なことは「さ・し・す・せ・そ」 福祉教育・ボランティア学習のつどい開催

2月15日（火）に福祉教育の必要性について再確認するとともに、先進的な事例や各学校の取り組みについて情報交換することで、より効果的な学習の実践・支援を目的に、福祉教育・ボランティア学習のつどいが開催されました。日本福祉教育研究所の妹尾信孝先生による講演では、

幼少の頃から障害を抱え、苦労した時もあったが、母親や仲間によって乗り越えたエピソードを交えながら、支え合う大切さ、



命の大切さ、自分を大切にし相手への敬うこと、共生する大切さについて話していただきました。グループ座談会では、小・中・高の先生方に分かれて福祉教育・ボランティア学習の現状・情報交換・課題等について話し合いが持たれました。

福祉教育は人間教育。福祉教育の「さしすせそ」は「サービス」「信頼関係」「スマイル」「誠実」「創意工夫」です。学校、家庭、地域の三味一体の取り組みが大切との妹尾先生の言葉が印象的でした。

### スタッフ日記

2月14日から地域福祉を学びたくて社協に実習に来ました。その一環としてボランティアセンターでも実習させてもらっています。私の想像以上に地域や学校のボランティア活動支援など本当に幅広く活動していることを知りました。月例情報市場や雪かきバスターズなど長野市ならではの素晴らしい活動もあります。ボランティアを活発にする事は、地域を活性化することにも繋がっていくと思います。社会問題など時代の流れとともに変化していき、ボランティアの内容もそれに対応していくために多様化していく必要があると思います。私は大きな活動は出来ないですが、身近な人を助ける、支えるといった小さな事からボランティアをしていきたいと思っています。（中澤）

# 古牧地区子どもと地域を守る 安全推進連絡会立ち上がる

「古牧地区子どもと地域を守る安全推進連絡会」の太田紀昭副会長にお話を伺いました。

連絡会の結成は平成16年12月。立ち上げたきっかけは、ある子どもが危険な目にあつた事件を、校長先生が古牧地区の団体長会議の席上で話され、子どもを守る為地域の協力を依頼された事でした。

これを受けて「地域の子どもを含めて地域の安全は我々の手で守っていこう」との考えから、区長会を中心に、防犯協会、老人クラブ連合会、子ども育成連絡協議会等11団体と和田・大豆島交番、古牧地区の6つの小中学校とPTAが参加して「連絡会」が結成されました。

古牧地区の人口は3万人弱、13の区から成っていますが、この連絡会には「地域の子どもと地域の安全は、地域全員が一丸となつて守る」ことを活動の目的としています。

「地域の住民や職場への防火・防犯・各種事故防止等への意識の啓発」と、「安全で明るく住み良い地域作り」を推進していこうとするものです。

併せて「学校と地域・区と各団体との連携」をより緊密にしながら、安



全への取組を図ることを目指しています。

事件等の情報は、地域住民に直ちに知らせて情報を共有することが必要です。この事によって多くの方々の目での警戒が可能となります。

『不審者が入り込めない地域にしていこう』というところがこの連絡会の主旨です。この意味では、地域が主体となつて立ち上げた事がこの連絡会の特徴と言えます。

具体的な活動としては、隣組回覧による「事件等の速報」や「地域ぐるみの挨拶運動」「隣近所への声掛け運動」「街宣車での呼び掛け運動」「パトロール中」のステッカーを自転車に付けた「リンリンパトロール」老人会を始めとした住民による「子どもの下校時間に合わせてウオーク運動」などが挙げられます。また、「子どもを守る安心の家」も一般家庭・会社・商店等を含めて増やすようにしています。

11月の事件では、襲われた子が防犯ベルを鳴らし、男が逃走したことから「防犯ベル全員携帯運動」も展開しています。この運動は地道で終りの無い運動ですから、近隣地域のご理解とご協力も得ながら進められたいと考えています。

# 長野市ボランティアセンター 2月の相談現場

土曜日の午後、20代後半と思われる男性が突然受付に立たれて、途切れ途切れにポツポツと話し始めました。

「あー、友達と二人で何かボランティアをしたんですけど・・・」

例えば、資格はないんですが在宅の高齢者の介護のお手伝いとか・・・地震災害の手伝いや募金活動なんかしたいんですが・・・

ボランティア活動をするにはボランティアセンターから許可証が出るんですか・・・

この方のようにボランティア活動をするには許可証がないと始められないと思ひ尋ねて来られる方が年に何人かいらっしゃいます。

ボランティア活動は自主的に始めるもので、書き損じはがき1枚寄付することから出来る事ですので気軽に始めて見てはどうでしょうか。特別の許可証はありません。

但し募金活動は申請して許可が得られないと勝手には出来ません。もつと肩の力を抜いて身近にできることから始めてはいかがでしょうか。



## 現場状況 2月分

相談件数	
ボランティアしたい	9件
ボランティア求む	3件
情報求む	15件
ボランティア活動支援	6件
ボランティア活動上の悩み	3件
よろず相談・悩みごと	3件
ボランティア保険・事故処理	0件
その他	2件
<b>合計</b>	<b>41件</b>

問い合わせ件数	
会議室予約	210件
伝言	75件
情報提供	236件
機材貸し出し	139件
チラシ・掲示板	66件
その他	214件
受付(よりのい会等)	749件
<b>合計</b>	<b>1689件</b>

(取りまとめ期間:2月1日～2月28日)

情報カード受付	42件
機材貸し出し	31件 98ヶ
ボランティア保険加入	
ボランティア活動保険	6件
行幸用保険	6件
在宅福祉サービス総合保険	0件
送迎サービス補償保険	0件
<b>合計</b>	<b>12件</b>

## 情報

### いつも傾聴 でんわ

話すことでちょっと気持ちが軽くなる  
かもしれない。貴方からのお電話  
待っています

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00

水 14:00~21:00

問:長野市ボランティアセンター

## 情報

### みつめてみよう こんな病気があることを

目に炎症が起こる全身性の病気、  
ベーチェット病、原田病をご存知  
でしょうか?

原因不明のこの病気は情報が少な  
いため、少しでも患者さんやご家  
族の情報源となるようHPや会報  
で情報をお届けしています。

問:NPO法人眼炎症スティーグループ

<http://hw001.gate01.com/ganen/>

## 情報

### 蒔いて育てて 作っちゃおう!

じゅず玉を蒔いて育てて、お手  
玉を作りませんか?

詳しくは下記までお問合せ下さ  
い。

問:長野市ボランティアセンター戸田

TEL026-227-3707

## 情報

### おもちゃ病院 開いています

毎月第2日曜日、もんぜんぷら座  
内じゃんけんぽんでおもちゃ病院  
開いています。幼稚園、小学校のみ  
んなも壊れたおもちゃを持ってき  
てね。(保護者同伴)

病院スタッフも募集中です。

問:じゃんけんぽん事務局

TEL 026-219-0022

## 情報

### お酒をやめたい あなたのために

毎週各地域で断酒例会が開催され  
ています。詳しくは下記まで。

問:長野県断酒連合会事務局

TEL 0265-94-2017

◆次回かわらばんは4月7日(木)  
発行予定。掲載希望団体は3月23  
日(水)迄に原稿をお寄せ下さい。

◆ボランティアかわらばん掲載記事を  
転載される場合は情報提供致し  
ますのでご連絡ください。

長野市ボランティアセンター

TEL026-227-3707/Fax224-1513

vc103@vnetnagano.or.jp

## 情報

### 移動介護従事者 養成研修受講者募集

在宅で生活される障害者のうち、  
視覚障害者の方や、全身性障害者  
の方の外出の介護を行うには、移  
動介護養成研修課程を修了したも  
のがあたることとされています。

日時:4月9,10,16,30日

5月7,8,22,28日

10:00開始

場所:もんぜんぷら座3階

参加費:テキスト代込 26000円

問:まごころ福祉サービス 山田

TEL 026-296-9358

## 情報

### 平成17年度ボランティア保険 への加入について

平成17年度のボランティア保険の加入申請を3月22日(火)より開始  
いたします。申込用紙は3月14日(月)より配布いたします。

なお、内容について下記のとおり改定となりましたのでご確認ください。

#### 【ボランティア活動保険】

◆基本タイプに熱中症(日射病、熱射病)及び入院保険金1,000日  
保証を追加

#### 【ボランティア行事用保険】

◆Aプラン(日帰り)において、開催するボランティア行事の内容によ  
り「A1・A2プラン」に区分し掛金を改定

A1プラン…1名・1日につき30円 A2プラン…1名・1日につき130円

◆Aプランにおいて、最低掛金を20名分に改定しました。(従来1,500円)

A1プラン…600円(30円×20名) A2プラン…2,600円(130円×20名)

詳細については下記までお問合せ下さい。

問:長野市ボランティアセンター(保険担当) TEL026-227-3707

## 情報

### FMぜんこうじ3月の出演者は?

毎週(木)12:45~55<76.5MHz>

10日 グリーンコンシューマー信州事務局より

グリーンコンシューマーのつどいについて

17日 Handsより

おはなし会vol.4

~好きになるなら障害者~のお知らせ

24日 ながの子ども城いきいきプロジェクトより

「わたし」の子育てから「地域」で子育てへ

31日 未定

※出演者募集中です。ご連絡ください。

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707

## 情報

### かわらばん配布場所について

4月1日付で長野市社会福祉協議会が旧4町村の社  
協と合併をいたします。それに伴い長野市ボランティ  
アセンターも新長野市を対象に事業展開いたします。  
かわらばんの配布場所については、下記のとおりに  
なります。新たに長野市に合併になったエリアでも  
入手可能ですので、引き続きご愛読をお願いします。

【かわらばん配布場所】※全て長野市内  
市内の公共機関(支所、公民館、図書館など)、ロー  
ソン各店舗

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707



**求む**

## 古里児童センター こどもの遊び相手募集!

放課後子どもと一緒に遊んでくれるボランティアを募集しています。囲碁・将棋・トランプどんな遊びでも結構です。元気な子ども達が待っています! 時間: 平日夕方

問: 古里児童センター  
TEL 026-296-3883

**求む**

## 一緒に外出して くださる方募集

視力が弱く見えづらいため、一人では行き慣れたところのみの外出となってしまう。カラオケ、ジャズコンサート等に一緒に行ってくださいかたを募集します。20歳以上の女性で(できれば30代)、趣味が合いお友だちになれる方。

日時: 土曜日

場所: カラオケ、コンサート会場、映画館等

問: 長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707

**求む**

## グループホーム世話人 さん募集

知的障害のある方のグループホームの世話人さんを募集しています。主な仕事の内容は食事の準備や掃除です。

時間帯: 朝と夕方

場所: 北尾張部 吉田 高田北条  
東和田

詳しい時間帯、時給については下記までお問合せください。

問: 社会福祉法人ながの障害者生活  
支援協会 前原  
TEL 026-259-9970

**催し**

## 講演会 体は自分で守ろう

「食はいのち」「医食同源」昔からの言い伝えを改めて考え直し、人間が本来持つ自然治癒力を高めて健康体を作りましょう。

日時: 3月24日(木) 13:30~15:00

場所: 湯福老人福祉センター

講師: 須藤太郎氏

参加費無料

問: 湯福老人福祉センター 南雲  
TEL 026-232-8335

**求む**

## フルドリキルト 募集のお知らせ

あなたの好きな花を一枚の布に描いてみませんか?平成17年5月1日~5日まで開催予定のながの花フェスタ2005へ出展します。講習会を行っています。ぜひご参加ください。

一緒にキルトを作成する「キルター」も募集していますので、下記までお問合せ下さい。

問: 南石堂商店街振興組合  
小淵 TEL 026-228-0294

**催し**

## 手作り絵本巡回展

お母さん達が一生懸命絵本を作りました。世界でたった一つの絵本です。大勢の方に見たり、触れたりして、楽しんでいただきたい催しです。

日時: 4月9日(土)、10日(日)

場所: 長野市篠ノ井公民館

問: 手づくり絵本の会 酒井  
TEL 026-292-0801

**催し**

## 3月の月例情報市場 新しい出会いがきっとある

企業・NPO・ボランティアグループ相互の物品・資源・情報の交換会。参加費無料

日時: 3月16日(水) 15:30~17:00

場所: ふれあい福祉センター

問: ながのボランティア・市民活動支援

**催し**

## 地域福祉ボランティア講座 ボランティア精神は地域の底力

今日、高齢者の事、子育ての事...問題解決は地域でとわれています。自分が住んでいるまちの問題って? あってもどうしたら?大丈夫!この講座で足がかりを。

日時: 3月22日(火) 13:30~15:00

場所: 湯福老人福祉センター

講師: 内山二郎氏

参加費無料

問: 湯福老人福祉センター 南雲  
TEL 026-232-8335

**催し**

## 小諸高校音楽科出身者による スプリングコンサート

小諸高校音楽科の卒業生によるコンサートです。卒業後、それぞれ進学してさらに研究を積み、演奏に磨きをかけています。若さあふれる演奏をお聞きください。

日時: 3月15日(火) 18:30開演

場所: 八十二別館1階ホール

参加費無料

問: 財団法人 八十二文化財団  
TEL 026-224-0511

**催し**

## 春から 多言語を始めよう!

ヒップファミリークラブでは、多言語の自然修得を様々な年代の方と楽しむことができます。ひとこと話せたら、世界が広がります。メンバーの体験談が聞けます。

日時: ①3月8日(火) ②3月11日(金)

③3月15日(火) ④3月23日(水)

⑤3月24日(木)

毎回 10:30~12:30

場所: ①仁礼コミュニケーションセンター

②東急ライフ③篠ノ井市民会館

④⑤ふれあい福祉センター

参加費無料

問: ヒップファミリークラブ  
TEL 0120-557-761

**催し**

## 第145回つぼで 家族の健康づくり

講演: 「森の健康といやし効果」

講師: 中部森林管理局 指導普及課

他「花粉症の予防とつぼ」/質疑応答有り。

日時: 3月29日(火) ※締切3月26日

場所: 西部保健センター/参加費: 無料

問: 鍼灸ビクトリーサポート21会  
近藤 TEL 026-228-8730



**求む!**

出会いをつくる  
新鮮!! 情報紙

3月 ボランティア  
かわらばん  
No. 269  
ながのボランティアかわらばん編集委員会

**ボランティア**

**します!**

発行所/〒380-0813 長野市緑町1714-5 長野市ボランティアセンター内  
Tel:026-227-3707 Fax:026-224-1513 http://www.vnetnagano.or.jp  
E-mail:volucen@vnetnagano.or.jp

**求む** スノーバスターズ

困ったところに行って雪かきをするスノーバスターズが誕生しました。あなたもスノーバスターズで雪かきボランティアしませんか!  
募集期間:3月31日まで

問:長野市ボランティアセンター  
TEL 026-227-3707

**催し** ながのボランティアのつどい2005

今年のはつどいでは、ボランティア活動の意義を再確認するとともに、自身の活動を見つめなおし、身近なところからボランティア活動について考えます。

日時:平成17年3月12日(土) 13:00~17:00

全体会:「ボランティア活動は他人事ではない普通の出来事」

分科会:①地域でボランティア活動を学び・つながり・広げよう!

②子育て中だから何かができる!

③中学生ボランティア斬っ! ゴミ拾い、老人ホームだけじゃないじゃな~い

④災害支援ボランティアネットワーク

場所:長野市ふれあい福祉センター 参加費:500円(高校生以下無料)

参加希望の方は下記までお申込みください。当日参加もお待ちしております。

問:長野市ボランティアセンター「ながのボランティアのつどい」担当 TEL026-227-3707

**求む** 困っています

長野市ボランティアセンター事業は、皆さまからの寄付金で支えられています。ところが、最近の経済状態から寄付金も少なく大変困っています。ご家庭で眠っている書き損じハガキ、古切手、バルマーク、テレホンカードがございましたらぜひご寄付ください。

問:長野市ボランティアセンター 渡辺  
TEL026-227-3707

**求む** かわらばん編集委員になりませんか

ボランティアの手による、ボランティアのためのかわらばん。あなたも一緒に作りませんか?文章の書くことが好きな方お待ちしております。

問:長野市ボランティアセンター内  
かわらばん編集委員会  
TEL026-227-3707



**求む** 川柳大募集

安全のために日常気をつけることや、ご近所のネットワークを活かせる川柳を大募集!ご応募いただいた川柳は選考のうえ、カルタに使わせていただきます。

問:長野市ボランティアセンター 渡辺  
TEL026-227-3707

**書き損じ葉書ありがとうございました!**

たくさんのご寄付、ありがとうございました。

若穂支所 太田信 松下信彦 美谷島金弥 太陽生命 昭和小学校 徳武久央 大塚国子 南長野郵便局  
佐橋法龍 塚田順子 吉沢 サティーマ 尾澤武 湯福老人福祉センター 酒井光男 佐藤忠彦 穂刈由香里  
塚田順子 やまびこ会 三浦園子 平井良文 竹村亘 鈴木文男 玉井絵理 長岡美和子 宮沢さだ子  
南防犯協会堀 匿名希望3名 [敬称略]

**書き損じ葉書集めてます!**

書き損じハガキや、余った年賀状等をご寄付ください。長野市のボランティア活動支援に役立てます。

問:長野市ボランティアセンター TEL026-227-3707/Fax 224-1513 長野市大字緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター1F